
月と星のカルナバル

こあり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

月と星のカルナバル

【Nコード】

N7794H

【作者名】

こあり

【あらすじ】

めずらしく明るい感じの詩です。宝野ありかさんの鳥になった私に影響されて書きました。でも秘めやかな毒も持っている、そんな曲です。

夢の扉を開けたら

さあさようこそ

門ゲートを開けて

素敵な騎士ナイトがお出迎え

ここが私の描えがいた“シアワセ”

ここはまほうの国よ

きらきらの月や星たちは

紫色の雲のすきまから

幸せな子供達を覗いているよ

お菓子で出来た遊園地

砂糖菓子のメリィゴーランド

食べても食べてもなくならないね

サイダーの噴水に溺れてゆくよ

街灯の中にはきらきら星が

閉じ込められちゃった！

夜のカルナバルでは

黒の唄姫が唄い

星の乙女たちが踊るの

夜の女王が見ているよ

ほら、夜の女王に見つかってしまっよ

闇のカアテンを身に纏えば

どんな人にも見つからないね

風に乗って出掛けよう

“ほら、しらん”

下品で低俗なおとなたちは

絢爛豪華な料理に夢中よ

醜くて卑しいおとなたち

おとなたちは飽きもせず

今日も料理を貪^{むさ}ってゆくよ

汚れを知らぬこどもたちは

目にきらきら星を映して

“シアワセ”な刹那^{トキ}を過ぎすよ

星の瞬きの儚さよ

今日もまた、くだらないことに

剣は閃くの

またひとり

散って逝く

“もう帰らなげや”

夢の世界に閉じ込められちゃうわ

パパにもママにも会えなくなるよ

“ワタシ”は聞くの

あしたも素敵なパーティーをするの？

(後書き)

明るい感じで書いてみました！
何時もとは違う新鮮な感じがしました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7794h/>

月と星のカルナバル

2010年10月17日02時59分発行